

1512 インターホンの使いやすさについての調査研究 - ユーザ属性別の比較検討 -

川澄 未来子(愛知淑徳大学), 玉木 克志, 高幡 幸太郎, 阿部 智仁, 花井 香織(アイホン)
 インターホンのユーザビリティ向上を目指して、インターホンと他の工業製品とでは、使いやすさに対するユーザの要望の強さがどのように違うか、Webアンケートを利用して調査した。ここでは、黒須正明氏によるWebアンケート(2000)で使用された調査項目を活用し、さまざまな工業製品群におけるインターホン製品の位置づけを確認するとともに、ユーザの年代や性別による結果の比較を行った。その結果、主婦層や高齢者層において特徴的な結果が得られた。

1513 初対面会話を触発する要素としての絵画の評価の一致を共有することの効果

高井 翔太, 三村 充, 宮里 勉(京都工芸繊維大学)
 本研究では、美術館など共通の興味を持つ人々が集まる場所での出会いや会話の促進を目標とし、そのような人々の初対面における会話を触発する要素を検討した。そこで、そのような要素として同じ対象物を見ている状況でその対象物についての評価の一致を共有するという点に着目し、実験により効果の検証を行った。実験では対象物を絵画とし、その評価の一致を電球の点灯によって被験者に伝えた。実験から電球の点灯が会話を促進するという結果が得られ、評価の一致の共有が初対面会話を触発する可能性を示唆できた。

1514 親指の連続なぞり動作を用いた目立たない走査式文字入力デバイスの開発

佐藤 知充, 藤田 欣也(東京農工大学)
 社会的理由で情報機器が使用できない環境下において、目立たずに文字入力可能な指のなぞり動作による走査式かな文字入力方法を提案するとともに、試作デバイスについて報告する。指の回転なぞり動作を採用することで走査にかかる時間の短縮を図り、動作を四角形に離散化することで移動量認知の支援を図った。試作デバイスにより実験を行ったところ、視覚フィードバックがない条件下であっても片手60分/文程度のかな文字入力ができる可能性が示された。

1515 MovingCollage : 映像体験における新しい感覚の効果

宮入 麻紀子, 南部 美砂子, 岡本 誠(公立はこだて未来大学)
 新しい映像体験を実現するメディアとして、MovingCollageを提案する。MovingCollageは、複数の動画を貼り合わせ、ひとつの画面にまとめることで、実際には繋がっていない時空間や事象が集約・統合されて見える映像である。本稿では、MovingCollageを用いることで、鑑賞者に、創作的認知をもたらす、普段とは異なる新しい見方を発見する可能性について検討する。

1516 大量画像データ編纂のためのテーブルトップインターフェース

三島木 一磨, 戸田 真志, 川嶋 稔夫(公立はこだて未来大学)
 近年、大量の写真に複数のユーザがアクセスし、アノテーションにより情報を整理するという行為が行われているが、実際には何のアノテーションもなく、単にデジタル化されアーカイブされている写真が大量に存在する。本研究ではこれらの写真に情報を付加するために、大量の写真を紹介した複数人のディスカッションという場に着目した。このような状況を解析するため、閲覧者による写真の操作を画像処理によってリアルタイムに解析するシステムを作成した。